

# 平成 29 年度環境学習会報告書

## 「環境学習会」×「ecoサッカー教室」



秋田県産業廃棄物協会 ×ブラウブリッツ秋田



平成29年10月22日（日）に、青年部会の環境教育事業として、協会賛助会員のブラウブリッツ秋田と、当協会の事業趣旨に賛同し今般タグを組んだ秋田県ビルメンテナンス協会青年部会様と共同で、秋田県内の小学生を対象とした『第3回環境学習会・ECOサッカー教室』を開催しました。3回目の開催となる今回も、江戸時代の3Rを題材とした環境教育と、ゴミの分別方法を取り入れたサッカーゲームの二部構成で行いました。

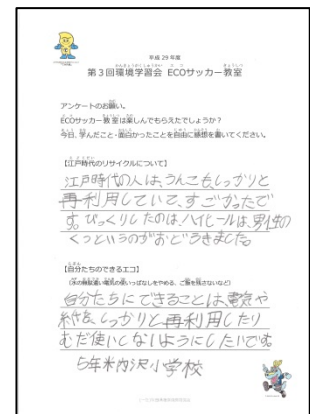
（参加者：児童27名、保護者多数、産廃協会13名、ビルメン協会8名、ブラウブリッツ4名）

開催式には、山岡会長から出席をいただき、学習会がスタートしました。



第一部の環境教育は、当協会青年部会の高島顧問が講師となり、スライドとビデオを使い、現代よりも、ひとつひとつの物を大事につかった江戸時代のリサイクルにヒントを示しながら、小学生でも飽きにくく、分りやすく、ユーモアを交えた講義となりました。

参加した児童からは、「江戸時代は、むだな物も出さないようにして3Rをしっかりとっていたことが分かった。電気や紙をむだづかいしないようにしたい。」とのコメントがよせられました。



続いて、グラウンドに移り、プロチームのコーチによるサッカーゲームを行いました。ゲームでは、ゼッケン（ビブス）に、可燃・不燃・資源などのイラストを貼り、同類のゴミ同士のパス回しをしながら、サッカーで大切な瞬時の判断力を身に着けるトレーニングをしました。



青年部会会員自身も、事業を通し、改めて環境を復習できる『自己研鑽』の場となりました。今後も一過性のものとせず、継続事業として開催していきたいと思ます。

